

カンボジア王国 「分娩時および新生児期を中心とした母子継続ケア改善プロジェクト」
 ~ Project for Improving Continuum of Care
 with focus on Intrapartum and Neonatal Care in Cambodia (IINeoC Project)~



ニュースレター 第1号
 2016年8月



生後28日間。一生の中でも生存に対して最も脆弱な期間と言われています。1990年からの15年間で、5歳未満で命を落とす子どもの数は世界的に大きく減少したものの、未だ年間590万人*1もの子どもが亡くなっています。その中でも、**新生児期、つまり生後28日の間の死亡が約45%***2を占めると言われています。カンボジアも例外ではなく、新生児期の死亡が5歳未満児死亡の約半数(47%)*3というのが現状です。本プロジェクト(愛称は、英名の頭文字を取り**IINeoC(アイ・アイ・ネオ・シー)プロジェクト**とといいます。)は、子どもの生存に深く関わる分娩時及び新生児期に着眼点を置き、カンボジアのカウンターパートとともに早期必須新生児ケア、病児や低体重児・早期産児に必要な集中的ケアの強化など様々な活動を展開していきます。

プロジェクト概要

協力期間: 2016年5月~2021年5月(5年間)

実施機関: カンボジア国保健省、国立母子保健センター、
 コンポンチャム州/スバイリエン州保健局、州病院

実施地域: プノンペン市(保健省、国立母子保健センター)、
 コンポンチャム州、スバイリエン州



【目標と目指す成果】

【上位目標】 対象州において、新生児死亡が減少する

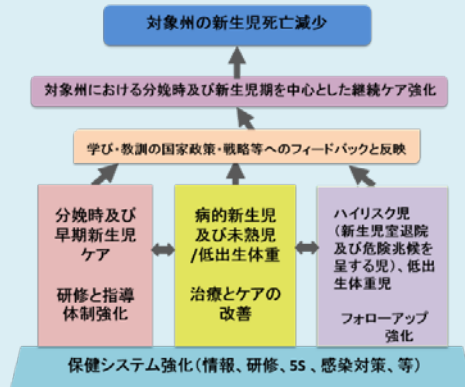
【プロジェクト目標】

対象州において、分娩時及び新生児期を中心とした継続ケアが強化される

【5つの成果】

- 成果1. 分娩時及び早期新生児ケアに関する研修と指導體制が強化される
- 成果2. 病的新生児及び未熟児、低出生体重児の治療・ケアが改善される
- 成果3. ハイリスク児(新生児室退院児および危険な兆候を呈する児)と低出生体重児のフォローアップが強化される
- 成果4. 継続ケアサービス改善に必要な保健システムが強化される
- 成果5. プロジェクトの学び・教訓が国家政策・戦略・ガイドライン等に反映される

概念枠組み



長期派遣専門家紹介

岩本あづさ(チーフアドバイザー)



カンボジアの赤ちゃんとおかあさん、ご家族に幸せな未来が開かれるよう、いろいろな分野の方達と協力しながら、プロジェクトを力強く進めて行きたいと思っています。クメール語も少しは話せるようになります！

林 朝子(業務調整/研修マネジメント)



プロジェクトでは、各種調整業務(会計・総務・人事管理等全般)と合わせて、主に成果4(保健システム強化)に係る活動を担当します。具体的には前プロジェクトで構築された病院研修部のマネジメント強化、病院内での母子保健情報システムの整備等を担当します。

ご支援どうぞよろしくお願い致します！

*1 WHO, 2015, http://www.who.int/gho/child_health/mortality/mortality_under_five_text/en/

*2 WHO, http://www.who.int/gho/child_health/mortality/neonatal_text/en/

*3 WHO, Cambodia Neonatal and Child Health Profile, http://www.who.int/maternal_child_adolescent/epidemiology/profiles/neonatal_child/khm.pdf